

自治体の課題、現状

龍ヶ崎市では、令和6年5月に「龍ヶ崎市地域クラブ活動ガイドライン」を策定し、7月には「龍ヶ崎市地域クラブ活動移行推進協議会」を設置し、年3回開催した。庁内でも検討会を数回開催し、部活動地域展開に向けて計画を進めてきた。

現在、市内の運動部活動は、全部で52部活動あるが、少子化に伴い、数年前から野球部とサッカー部は合同チーム（東：2校と西：3校）の2チームによる活動である。そこで実証事業として、野球部とサッカー部の休日の練習を8月より地域移行した。

課題としては、練習会場までの移動方法や顧問と地域指導者の連携、地域クラブ参加生徒が少ない等、いくつか挙げられる。

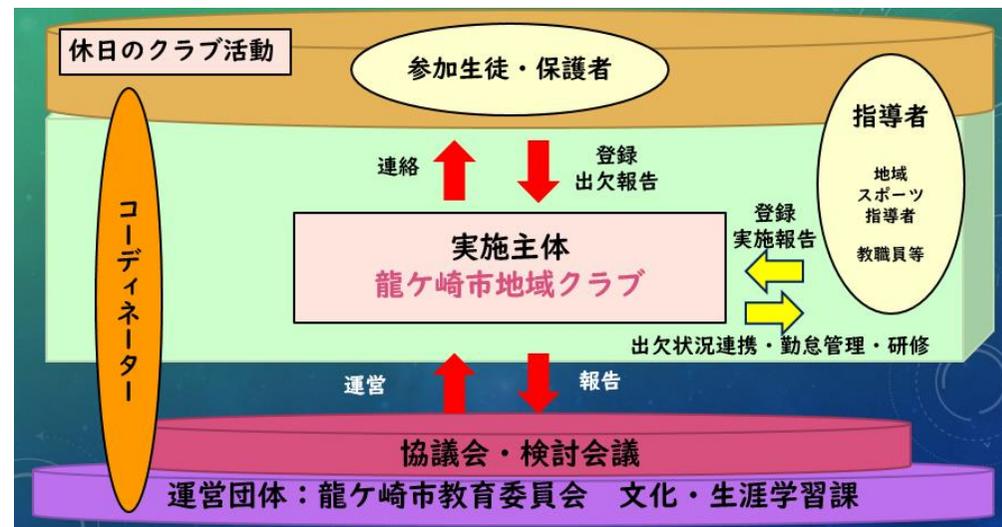
地域スポーツクラブ活動等の概要

中学校数	5校	全生徒数	1733人
域内の部活動数	52部	実施した地域クラブ数	2クラブ
全体の指導者数	8人	全体の運営スタッフ数	7人
主な運営団体	総合型地域スポーツクラブ「クラブ・ドラゴンズ」		
主な種目	軟式野球、サッカー		
平均的な活動回数	4回/月	年間平均参加生徒実数	2年：10人/クラブ 1年：9人/クラブ
参加会費	0円/年	主な活動場所	龍ヶ崎中学校 たつこのフィールド

地域移行関連の取組、成果

- ・体験会では、参加生徒が少なかったが、活動を進めるにあたり徐々に会員が増え、サッカークラブでは、ポジション練習を取り入れるなど工夫し、部活動の部員だけでなく、近隣のクラブチームに所属している市内中学生も参加し、**毎回質の高い練習**ができた。
- ・業務委託先のクラブ・ドラゴンズが顧問や生徒のニーズに合わせ、活動場所を変更したり、練習試合で審判の手伝いをしたりと、**地域クラブと部活動、指導者と顧問の連携**を図ることができた。
- ・来年度に向け、**平日の部活動も地域クラブへ移行**できる体制が整い、学校も新入生募集を停止することができ、野球とサッカーは地域展開できるロードマップをひくことができた。

運営体制図



令和6年度

地域スポーツクラブ活動体制整備事業

地域スポーツクラブ活動への移行に向けた実証事業

茨城県 龍ヶ崎市

自治体名 : 茨城県龍ヶ崎市
担当課名 : 教育委員会文化・生涯学習課
電話番号 : 0297-64-1111

本報告書は、スポーツ庁の「令和6年度地域スポーツクラブ活動体制整備事業（運動部活動の地域移行等に向けた実証事業）」の一貫として、茨城県が実施した「令和6年度運動部活動の地域移行に向けた実証事業」の成果をとりとめたものです。

1.自治体の基本情報

基本情報

面積	78.59km ²
人口	75635人
公立中学校数	5校
公立中学校生徒数	1733人
部活動数	52部活
市区町村の協議会・検討会議等の設置状況	設置済
市区町村の推進計画・ガイドライン等の策定状況	策定済

地域連携・地域移行における市区町村の現状・課題

スポーツ・文化芸術等の部活動を学校から地域クラブ活動へと移行すること目指し、令和5年度から令和7年度までの3年間を「改革推進期間」として、「地域の実情に応じて可能な限り早期の実現を目指す」などの方針が「学校部活動及び新たな地域クラブ活動の在り方等に関する総合的なガイドライン」で示された。龍ケ崎市でも、5月に「龍ケ崎市地域クラブ活動ガイドライン」を策定し、7月には「龍ケ崎市地域クラブ活動移行推進協議会」を設置し、年3回開催した。庁内でも検討会を6回開催し、部活動地域展開に向けて計画を進めてきた。

現在、龍ケ崎市の運動部活動は、軟式野球部、サッカー部、バスケットボール部（男女）、バレーボール部（男女）、ソフトテニス部（男女）、卓球部（男女）、柔道部、剣道部、弓道部、陸上部があり、全部で52運動部活動ある。

少子化に伴い、数年前から野球部とサッカー部は合同チームによる部活動を行い、昨年度から東（2校）と西（3校）の2チームによる活動となった。

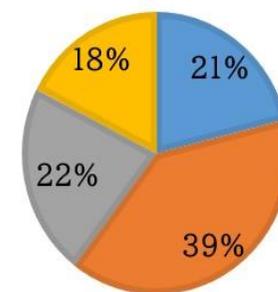
生徒数も年々減っており、団体スポーツの将来的な継続は難しいものとする。

令和6年度は、部活動地域移行の実証事業として、野球部とサッカー部の休日の練習を地域移行した。顧問と地域指導者で連携を取りながら、8月より活動を開始した。

課題としては、練習会場までの移動や参加生徒が少ない等いくつか挙げられるが、その都度関係者間で連携を図りながら進めてきた。

休日の部活動が顧問ではなく、地域クラブの指導者となった場合、参加したいと思いますか。（932人回答）

■①参加したい ■②まあ参加したい ■③あまり参加したくない ■④参加しない

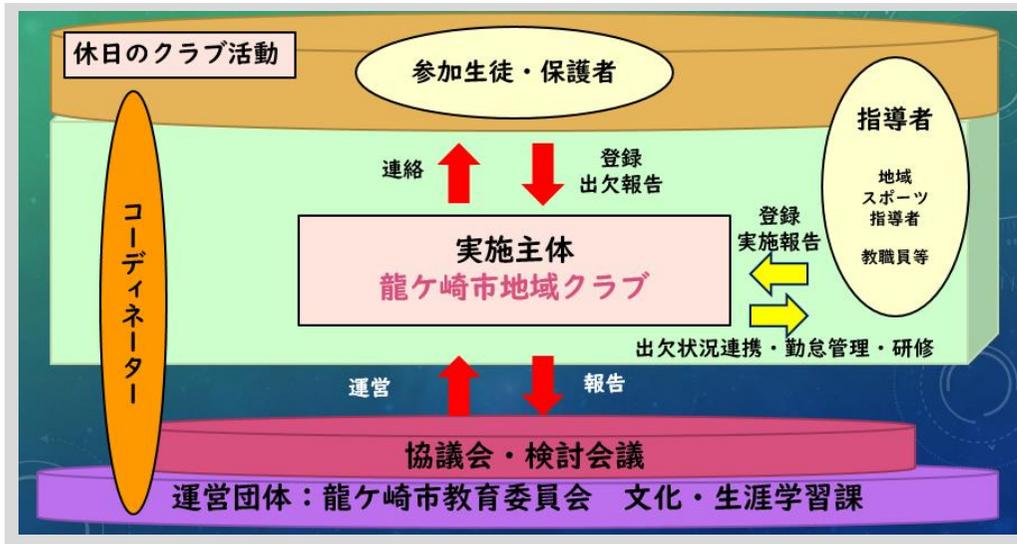


部活動地域移行アンケート
令和6年7月
市内中学1・2年生（932人）実施

2.実証内容と成果

運営体制・役割

●運営体制図



●行政組織内での役割分担

◎教育委員会

- ・文化・生涯学習課…部活動改革の主管、学校との連絡・調整、推進計画策定 など
- ・教育総務課…学校施設管理・学校施設利用時の制度整備
- ・指導課…部活動指導員の配置

◎首長部局

- ・スポーツ推進課…地域スポーツの環境整備、施設の管理、スポーツ指導員の配置
- ・財政課…予算措置、使用料・手数料検討委員会
- ・人事行政課…部活動コーディネーター公募

年間の事業スケジュール

令和6年5月	第1回部活動地域移行検討会開催
令和6年6月	第2回部活動地域移行検討会開催
令和6年7月	第1回龍ヶ崎市地域クラブ活動移行推進協議会開催
令和6年7月	第3回部活動地域移行検討会開催
令和6年7月	野球部・サッカー部保護者説明会
令和6年8月	野球・サッカー地域クラブ体験会
令和6年8月	市教研にて全教職員説明
令和6年9月	第4回部活動地域移行検討会開催
令和6年10月	第5回部活動地域移行検討会開催
令和6年11月	第2回龍ヶ崎市地域クラブ活動移行推進協議会開催
令和7年1月	第6回部活動地域移行検討会開催
令和7年2月	第3回龍ヶ崎市地域クラブ活動移行推進協議会開催
令和7年2月	全教職員説明（オンライン）

2.実証内容と成果

地域スポーツクラブ活動の運営実績

①全体に関すること

中学校数	5校	実施した地域クラブ総数	2クラブ
ケース別クラブ数	A：部活動を地域移行した形のクラブ数（及び移行された部活動数）		2クラブ（8部活）
	B：部活動を移行する形態ではない地域クラブ（新たな種目のクラブを新規に創設するケース等）		0クラブ
全体の指導者数	8人	全体の運営スタッフ数	7人

②各クラブに関すること

クラブ名	運営団体種別	種目	実施回数	実施時間帯	参加者 (学年別)	実施期間	活動場所	指導者数	運営スタッフ数 (他クラブと兼務)	会費	大会参加方法
RYUGASAKI BABSBALL CLUB	総合型地域 スポーツクラブ 「クラブ・ドラゴンズ」	軟式野球(新)	週1回	9時～ 12時	中1：5人 中2：7人	令和6年 8月～ 令和7年 2月	たつのこ スタジアム 龍ヶ崎中	4人	4人（内、兼務1人）	なし	中体連：部活動 JWC：顧問対応
FC RYUGASAKI	総合型地域 スポーツクラブ 「クラブ・ドラゴンズ」	サッカー（新）	週1回	17時～ 19時	中1：16人 中2：15人	令和6年 8月～ 令和7年 2月	たつのこ フィールド	4人	4人（内、兼務1人）	なし	中体連：部活動 IFA：部活動

③その他、体験会やイベント等の開催実績

- 7月20日（土） 野球部保護者説明会
- 7月26日（金） サッカー部保護者オンライン説明会
- 8月4日（日） RYUGASAKI BASEBALL CLUB 体験会（たつのこスタジアム）
- 8月4日（日） FC RYUGASAKI 体験会（たつのこフィールド）
- 9月8日（日） イースタンリーグ（日本ハムV S巨人）観戦
- 9月21日（土） 地域指導者による県南新人戦出場校でのポジション練習
- 9月28日（土） 地域指導者による県南新人戦出場校でのポジション練習
- 10月19日（土） Jリーグ試合観戦（鹿島アントラーズV Sアビスパ福岡）試合観戦
- 2月8日（土） 小学生体験会実施（サッカー）



【野球部・サッカー部保護者説明会の様子】

2.実証内容と成果

主な取組例

●クラブ・ドラゴンズ 活動概要

地域クラブ活動で実施した種目	野球、サッカー
運営団体名	総合型地域スポーツクラブ「クラブ・ドラゴンズ」
期間と日数	野球：8月4日～3月30日 週1回程度 サッカー：8月4日～3月29日 週1回程度
指導者の主な属性	兼職兼業・市スポーツ指導員 クラブ・ドラゴンズスタッフ
活動場所	たつのこスタジアム・たつのこフィールド 市内中学校
主な移動手段	自転車・保護者送迎
1人あたりの参加会費等（年額）	野球：0円 サッカー：0円
1人あたりの保険料	スponsル補償 生徒1人あたり：150円/月 指導者1人あたり：200円/月

●運営体制図（地域クラブ活動を実施する際の運営体制図）



●指導者や運営スタッフなどの役割分担等

●事務総括

役割：活動における管理者として、事務全般を行う

●マネージャー

役割：活動における主任者として、生徒への指導や学校への説明を行う

●指導者 8人

役割：運営団体マネージャーの指示に従って、活動を行う

2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備
 イ：指導者の質の保障・量の確保
 ウ：関係団体・分野との連携強化
 エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実
 カ：参加費用負担の支援等
 キ：学校施設の活用等
 ク：その他の取組



取組内容

●取組項目名 ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

取組事項

- 関係団体代表者からなる「龍ヶ崎市地域クラブ活動移行推進協議会」を発足し、年3回情報交換を行った。庁内でも関係各課長からなる検討会を年6回実施した。
- 8月の実証事業開始に向け、野球部保護者とサッカー部保護者に向けて、地域移行について説明会を行った。
- 運営団体マネージャーと持続可能な運営ができる組織体制の整備を行った。体験会や休日の地域クラブ活動の様子を視察し、定期的に地域指導者や生徒と意見を交換した。

取組の成果

○市のスポーツ協会やスポーツ少年団、スポーツ推進委員、大学教授、市校長会、PTA連絡協議会、中体連理事長など10名から組織される協議会を発足し、年3回情報交換を行った。関係団体の代表者それぞれの立場から意見をいただいた。県教育庁学校教育部保健体育課の部活動地域移行担当指導主事にもオブザーバーとして参加してもらい、意見をいただいた。

○業務委託先である総合型地域スポーツクラブ「クラブ・ドラゴンズ」のマネージャーと8月からの実証事業に向け、組織体制の整備を行った。事前に市内5中学校を部活動地域移行担当者と一緒に訪問し、各校長や顧問へ事業説明を行い、理解を深めてもらった。すでに陸上部で中体連登録をしている団体であるので、学校側も安心して生徒を任せることができた。

龍ヶ崎市地域クラブ活動移行推進協議会委員

- ・市スポーツ協会（代表者：）
- ・市スポーツ少年団（代表者：）
- ・市スポーツ推進委員（代表者：）
- ・流通経済大学（代表者：）
- ・市小中学校体育連盟会長 小学校：校長
中学校：校長
- ・龍ヶ崎市校長会長（校長：）
- ・PTA連絡協議会（市P連会長：）
- ・中学校体育連盟（理事長：）
- ・中学校文化部顧問（顧問：）



担当者の具体的な動きの実績（学校対応）

- 校長会中学校部会参加（4月・5月・6月・12月）
- 校長会定例会参加（12月・1月）
- 教頭会参加（4月・2月）
- 市教研にて市内全教職員へ説明（8月・2月）
- 野球・サッカー全顧問ヒアリング（5月・8月・12月）

今後の課題と対応方針

- 協議会委員の中に、来年度休日地域クラブ指導者の候補者が数名いたことで、具体的な内容まで検討することができた。委員の役職によっては、協議会に参加しているだけになってしまっている委員もいたので、来年度は委員の選考も再度検討していく必要がある。
- 学校側への説明が1回では十分に伝わらないことがあったので、繰り返し説明し、合意形成を図っていく必要あると感じた。

2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

イ：指導者の質の保障・量の確保

ウ：関係団体・分野との連携強化

エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実

カ：参加費用負担の支援等

キ：学校施設の活用等

ク：その他の取組



取組内容

●取組項目名 イ：指導者の質の保障・量の確保

取組事項

○野球の指導者は、クラブ・ドラゴンズマネージャーと委託先の団体が確保していた指導者3人（市外小学校教諭の兼職兼業・野球経験者など）で指導に当たった。
○サッカーの指導者は、クラブ・ドラゴンズトレーナーと市役所サッカー部（2人、市スポーツ指導者1人）で指導に当たった。量の確保についても、どちらの地域クラブも4人指導者がいることで、部活動よりも手厚い指導ができた。

登録者属性

龍ケ崎市では、スポーツ推進課で部活動支援をしている「市スポーツ指導者」制度がある。実際に市内部活動指導のサポートとして、卓球・陸上・テニスで活躍されている。サッカーの指導者は、市スポーツ指導者である。

資格有無

地域クラブ体験会までに、地域指導者全員が講習プログラムを受講し、テストを受けてから指導へ臨んだ。どちらのクラブにも、以前小・中学生を指導した経験がある指導者がいることで、質も保証されている。

取組の成果

①指導者講習プログラムとして、業務委託先が作成した6つの動画を視聴し、内容についてテストを行った。（右Q-Rコードから視聴）

・スポーツ振興 ・グッドコーチ ・安全管理 ・栄養 ・応急処置 ・スポーツとジェンダー

テスト結果については、事務局で把握し、必要に応じ個別に対応をしている。

②休日に地方大会や練習試合があるときは、顧問が部活動を行ったので、地域クラブ活動は時間や日程を変更して行った。顧問と地域指導者の連携を図るため、県南新人戦前にはサッカーの地域クラブ指導者が部活動に参加し、ポジション別の練習を行った（右写真）。野球は、部活動の練習試合時に地域指導者が審判として参加し、教員の働き方改革につなげた。

龍ケ崎市 運動部活動地域移行 指導者研修プログラム



【G Kポジション練習の様子】

今後の課題

地域移行を進めて行く上で、顧問と地域指導者との連携は必須である。部活動地域移行担当者がコーディネーターとなり、クラブ・ドラゴンズマネージャーと市内全中学校を訪れ管理職や顧問とヒアリングを行ったり、顧問のニーズを地域指導者へ伝えたり、地域指導者と新人戦の視察を行ったりと工夫してきたが、種目数が増えていくと今年度と同じように進めていくには人的にも時間的にも課題がある。

2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

イ：指導者の質の保障・量の確保

ウ：関係団体・分野との連携強化

エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実

カ：参加費用負担の支援等

キ：学校施設の活用等

ク：その他の取組



スポーツ庁

取組内容

●取組項目名 ウ：関係団体・分野との連携強化

取組事項

○市内には、昨年度立ち上げた中学生の軟式野球チームがある。代表者とヒアリングをする中で、部活動の指導方針にある活動時間を守ることが難しいとのことで、中体連登録は考えていないが、市内の中学生が数名在籍し休日練習している。

○市内の野球・サッカー少年団に在籍している6年生の児童数と入部希望先を把握するため、スポーツ少年団の指導者にヒアリングを行った。

○来年度、クラブ・ドラゴンズが継続して平日も練習できる環境を整えることができたため、野球・サッカーで中体連登録に向け細則を確認した。野球の団体登録に必要な審判ライセンスを地域指導者が取得するため、野球連盟龍ヶ崎支部の代表者と相談し、講習会を設定した。

取組の成果

○地域クラブ活動を行っている活動場所（たつこのスタジアム）が本市の東側にあるので、西側の学校の生徒が移動が課題となり、参加できない生徒が多かった。そこで、既存の軟式野球チームの休日練習場所を西側の中学校のグラウンドを使用することで、西側の学校の生徒も野球練習ができる環境を整えた。

（市内野球部員30名、クラブ・ドラゴンズ会員14名、軟式野球チーム6名）
休日に中学校のグラウンドを既存のクラブチームへ開放する前例がなかったが、検討会で施設利用規約等について確認し、当該校長とクラブ代表者、担当で話し合いをもち、施設開放が始まった。左下図（当該校HPより）のように、学校側もメリットがあり、良いモデルとなっている。

●クラブ野球チームが校庭防護ネット修理をしてくれました。

現在、部活動（野球）の休日地域移行により、空いた野球場を地域の野球チーム「JHBC」にお貸ししております。

去る11月3日（日曜日）、劣化や除草の際に破れた防護ネットの補強をしていただきました。とても丁寧に作業をしていただき感謝しております。



ネット修理-1



ネット修理-2

今後の課題と対応方針

○休日、野球ができる環境が2チームあることで、生徒も選びやすかった反面、どちらも人数が少ないという課題があった。また、1つは休日の地域移行クラブ（3時間みの活動）1つは休日みの活動（土・日）ということで、生徒や保護者が疑問を抱き、質問を受けることもあった。HPやチラシで周知はしているが、直接説明する機会を設けていく必要性を感じた。

○地域クラブが中体連登録をするには、種目ごとに細則が決まっており、野球は指導者資格や審判資格が必要であった。市の野球連盟龍ヶ崎支部に協力してもらい講習会を実施したが、今後中体連登録を考えているクラブには、事前に登録資格を確認しておく必要があると感じた。

2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備
イ：指導者の質の保障・量の確保
ウ：関係団体・分野との連携強化
エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実
カ：参加費用負担の支援等
キ：学校施設の活用等
ク：その他の取組



取組内容

●取組項目名 オ：内容の充実

取組事項

○学校への周知

- ・業務委託先マネージャーと事務局担当で市内校長へ概要説明（訪問）
- ・校長役員会、学校長会等で説明
- ・ホームページへ関連資料掲載
- ・市教育研究会全体会にて市内全教職員へ周知
- ・野球・サッカー顧問へヒアリング（学校訪問5校×3回）
- ・野球・サッカー保護者会開催
- ・新入生中学校訪問時、説明会実施
- ・市論文発表会（オンライン）時に説明動画視聴（全教職員へ）

取組成果

市内5中学校長や野球・サッカー部顧問とヒアリングをするため定期的に学校を訪問することで、市の推進計画やロードマップについて共通理解を図ることができた。市内の全教職員に対しても、夏の市教研の研修会全体会（右図）で担当から説明することで、現状について共有することができた。また、年度末の市論文発表会（オンライン）時に、令和7年度の地域移行の推進計画について、説明動画を活用して周知することができた。



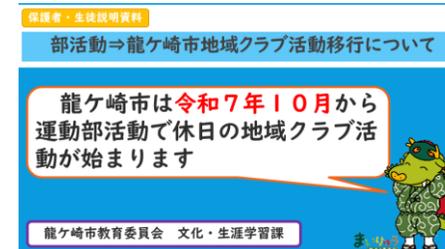
特に工夫した事項

5月、サッカー部顧問とヒアリングをした際に、保護者や生徒から部活動地域移行について質問があり、返答に困っているとのことだったので、定期的に学校長や顧問と連携を図り、情報提供をしてきた。

部活動地域移行担当が学校や保護者、生徒へ直接説明をすることで、伝達したい事項を選んで効果的に伝えることができた。また、説明会に参加できなかった保護者には、説明動画（右図you tube）やチラシを活用して周知した。

今後の課題と対応策

地域移行担当が学校・保護者・児童・生徒への説明を直接行い、同時に他種目の関係団体（スポーツ少年団・スポーツ協会・大学関係者等）とヒアリングをしてきたので、連絡・調整には時間がかかった。来年度はコーディネーター配属を予定しているが、複数人で対応していく体制を整えることも急務である。また、国が求める専属部署の設立も必要になってくると考える。



2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備
 イ：指導者の質の保障・量の確保
 ウ：関係団体・分野との連携強化
 エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実
 カ：参加費用負担の支援等
キ：学校施設の活用等
 ク：その他の取組



取組内容

●取組項目名 キ：学校施設の活用等

取組事項

活動場所は野球はたつのこスタジアム、サッカーはたつのこフィールドを基本とした。夏場の暑い時期は、夕方から練習会を設定することで、日中暑い中の活動は避けられたが、照明代の使用料がかかった。秋以降、施設が使えないときは、市内中学校のグラウンドを使用した。

野球の活動場所は、市内中央にある中学校で行った。サッカーは、フィールドの使用ができない時のみ中学校にて数回活動を行った。顧問の意向を聞きながら、活動中学校を時期によって変更し、生徒が参加しやすいよう工夫した。

取組の成果

○市でも環境面が最も優れている施設を使用することで、参加生徒が徐々に増えていき、参加生徒や保護者からも非常に好評であった。
 ○中学校施設を使用する時は、普段移動手段がなく参加できない生徒も、近くの中学校なので自転車で行けるようになり、参加できるようになった。
 ○5中学校のどのグラウンドを使用するか、地域指導者の意向を聞きながら調整をしたが、外トイレがある学校が5校中2校のみであったので、施設の鍵を使わなくてもグラウンドが使える中学校を優先的に使用した。
 ○各学校の部活動計画をホームページを事前に見て、地域クラブが活動時間や活動場所を調整したが、予定が変更になり、活動場所が変わったが連絡がなく、急遽活動が無しになるケースもあったので、右図のようなスプレッドシートを関係者で共有した。

今後の課題と対応方針

ホームページの情報や電話で活動場所や時間を調整していたが、9月以降は地域クラブのスケジュールと部活動の月予定のスプレッドシートを事務局で共有し、顧問や地域指導者が調整できるように工夫したことで、その

都度連絡を取り合わなくてもよくなった。

体育館を使用する種目の場合、学校から鍵を借りて地域クラブへ貸し出す必要になることから、スペアキーを作成する必要がある。

月	日	チェック	お	可能時間(複数)	備考	決定
9月	22	✓		8:00~16:00	新人戦予備日	8:00-10:30
	29	✓		8:00~16:00		8:00-10:30
10月	6	✓		8:00~16:00	英検会場(1次試験)グラウンドを使用できるかわかりません。	x
	13	✓		8:00~16:00	午前中練習試合	8:30-11:00
	20	✓		8:00~16:00	午前中練習試合	8:30-11:00
	27	✓		8:00~16:00		8:00-10:30
11月	3	✓		8:00~16:00		9:00-11:30
	10	✓		8:00~16:00		9:00-11:30
	17	✓		8:00~16:00	16日の大会が勝ち進めば2日目にあたります。	x
	23	✓		8:00~16:00		x
	30	✓		8:00~16:00	17日の大会を勝ち進めば3日目にあたります。	x

2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備
イ：指導者の質の保障・量の確保
ウ：関係団体・分野との連携強化
エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実
カ：参加費用負担の支援等
キ：学校施設の活用等
ク：**その他の取組**



取組内容

●取組項目名 ク：その他の取組（1月実施 まちづくりミーティング）

取組事項

まちづくりミーティングで本市の部活動地域展開について講演してほしいとの要請があり、地域移行担当者が大学生・中学生保護者・スポーツ指導者市民の前で説明することができた。本市の現状と今後の方向性を説明した後、ワークショップとしてそれぞれの立場からさまざまな意見をいただいた。休日に行われた研修会であったが、30人以上参加があり、情報共有できたと共に、参加者が不安に感じる部分を理解することができた。

取組の成果

○部活動地域移行担当から龍ヶ崎市の部活動地域展開について説明し、参加者に理解してもらった。これまでホームページやチラシ、動画で発信してきたが、情報を届けたい対象者へ届いていない現状を目の当たりにした。

○他市の取り組みについて紹介する参加者もあり、他自治体と本市を比較し、話題にするグループもあった。

○市内の大学生が各グループで参加しており、自分の中学校時代と比較をしながら、今度の部活動の在り方について熱心に議論をしていた。

○参加保護者には、教職員の働き方の現状について理解してもらった。それを踏まえ、どのような環境を整えれば子どもたちが満足いか、さまざまな視点で意見が出てきた。

○スポーツ指導者や市民からも中学生の新たなスポーツ環境をどう構築するか、建設的な意見が出ていた。

ミーティングの様子



今後の課題と対応方針

○保護者・生徒への周知の方法を紙媒体にしたり、回数を増やしたりとさらに充実させる必要がある。

○文化部に在籍する保護者が多数おり、今後の地域展開について質問があった。文化部の地域展開についても早めに推進計画を示したい。

2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備
イ：指導者の質の保障・量の確保
ウ：関係団体・分野との連携強化
エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実
カ：参加費用負担の支援等
キ：学校施設の活用等
ク：**その他の取組**



取組内容

●取組項目名 ク：その他の取組（2月実施 小学生体験会）

取組事項

市内の小学5・6年生へ地域クラブ活動のチラシを配布したところ、体験会への参加を希望する児童が数名いた。よりたくさんの小学生に参加してもらうため、スポーツ少年団本部に協力を仰ぎ、市内にある4つのサッカー

少年団代表へ体験会を周知した。6年生のスポーツ少年団に在籍する児童6名と小学校中・高学年の児童15名程度が参加し、中学生と一緒に活動する機会を設けた。

取組の成果

○部活動は中学入学後に仮入部をし、本格的な活動をするのは5月以降、または総体後であるが、地域クラブのメリットとしては、スポーツ少年団を卒団した6年生を始め、幅広い世代がすぐに参加できることにある。スポーツ少年団指導者からも、小学生が早めに地域クラブで活動を始められることで、メリットを感じていた。

○小学生の保護者がたくさん参観をしていたことで、担当者からと地域クラブ指導者から直接保護者へ部活動地域展開や地域クラブ活動について説明をすることができた。体験会后、数名の児童は会員登録をして、毎週末の活動に参加をしている。

○地域クラブの指導者が小学生向けの練習メニューを考えることで、スキルアップにつながった。また、スポーツ少年団の指導者もサッカー指導と一緒に加わり、普段よりも活気のある活動が展開できた。

体験会の様子



今後の課題と対応方針

○中学生年代だけでなく、小学生のスポーツ少年団や高校生・大学生といった幅広い世代と交流できることも地域クラブのメリットであると感じた。今後はそのような機会を関係団体に協力してもらいながら場の提供をしていきたい。

○指導の対象が複数人となることで、本来関わるべき中学生への指導者からの声かけの回数が少なくなっていた。小学生の活動時間を短くするなど改善の余地はある。

総括・成果の評価・今後に向けて

●総括

【成果】

○体験会では、参加生徒が少なかったが、活動を進めるにあたり徐々に会員が増え、サッカークラブでは、部活動の部員だけでなく、近隣のクラブチームに所属している市内中学生も参加し、毎回質の高い練習ができた。

○業務委託先のクラブ・ドラゴンズが顧問や生徒のニーズに合わせ、活動場所を変更したり、練習試合で審判の手伝いをしたりと、地域クラブと部活動、指導者と顧問の連携を図ることができた。

○来年度に向け、平日の部活動も地域クラブへ移行できる体制が整い、学校も新入生募集を停止することができ、野球とサッカーは地域展開できるロードマップをひくことができた。

【課題】

○実証事業開始時、周知が徹底できずに顧問や保護者から説明を求められることがあった。今後は、HPや説明動画、チラシなど生徒や保護者へきちんと情報が伝わるようにしていきたい。

○令和6年度は会費が無料であり休日みの活動であったが、令和7年度は会費がかかり、平日3日、休日1日の週4日となることで、参加生徒が減ることが予想される。会場までの移動手段も課題となっている。

●成果の評価

○本市としては、初めての実証事業であったが、業務委託先のクラブ・ドラゴンズが課題が出てくるたびに相談を重ね、柔軟に対応してくれたこともあり、参加保護者や生徒からは満足感を得られる結果となった。野球とサッカーの実証事業を通して、部活動を地域クラブ化するまでの流れを構築することができたが、この2種目は少子化の影響で、既に合同チームとして活動していた種目である。他の運動種目はまた違う現状であり、移行先となる運営団体や活動主体もさまざまな状況であることを考えると地域展開を進めていくには乗り越える課題がたくさんあることが推察される。今後も関係者や関係団体をうまくコーディネートしながら地域展開を推進していきたい。

○2種目、休日みの業務委託であったが、国費の補助は300万を超えている。他の種目や平日までの移行を考えると業務委託を続けることは、莫大な予算がかかっていくことが想定されることから、来年度は業務委託でなく、市が運営団体となり、その可能性を探っていく。

●今後に向けて

○野球とサッカーについては、市で1つの地域クラブを立ち上げ、平日まで地域展開できる状況になったが、すべての運動部の移行先団体を1つに絞る必要はない。1つの団体となると生徒は集まりやすいが、移動が課題になってくる。市の5中学校の生徒数をみても、4校は250人以下の規模であるが、1校は400人近い生徒数である。地域展開のみではなく、地域連携も視野にいれながら、生徒にとってベストの地域展開は何か、関係者と意見交換をしながら、新たなスポーツ環境を整えていきたい。

○人、モノ、金をどう確保していくか、検討を続けていく必要がある。

アンケート結果・関係者の声

●アンケート結果（野球・サッカー地域クラブ会員 34名回答）

Q.練習会場までの移動手段は何ですか？

■ 車での送迎 ■ 自転車



Q.地域クラブに求めるものは何ですか？

■ より質の高い指導 ■ 楽しく運動ができる環境 ■ その他



●関係者の声

中学生

- ・学校の部活動より専門的に教えてもらってうれしい。
- ・市内の同じ中学生で活動できて楽しい
- ・会場までの移動は大変だが、環境がよくて練習しやすいです。
- ・このチームで戦ったら強いと思う。
- ・平日も移動となると参加できない。
- ・顧問の先生と地域の指導者がいうことが違うことがある。

参加保護者

- ・地域指導者が複数で工夫して練習してくださってありがたいです。
- ・中学生が人工芝で練習できる環境を整備してくださり、本人もよろこんでおります。
- ・専門的な技術指導を受けられるようで、向上心が強くなりました。
- ・平日までとなると、送迎が難しいです。
- ・活動時間や活動場所は、時期によって変えてもらえると助かります。

顧問

- ・休日の超過勤務時間が大幅に減り、働き方改革につながりました。
- ・練習試合のとき、地域指導者が審判をしてくれて助かった。
- ・県南新人戦前にポジション練習をしてくれたり、練習メニューについてアドバイスをもらえてとても助かりました。
- ・初心者の子が体験会に参加したが、会員にはならなかった。みんなが楽しくできるような工夫があるとさらによい。

2.実証内容と成果③

広報資料

○令和6年8月からの実証事業を開始するにあたり、野球・サッカーそれぞれのクラブで体験会を設定した。左下チラシを配布・配信し、保護者・生徒へ周知をした。申し込みはQ-Rコードから参加できるようにし、委託先と事務局で情報を共有した。

○令和7年度の会員募集として、右下チラシを中学生・小学6年生へ配布・配信した。



新入部員大募集!!
RYUGASAKI BASEBALL CLUB WEST/EAST

無料体験会 案内

- 対象者 城ノ内中学校、龍ヶ崎中学校、長山中学校、中根台中学校、城西中学校に在籍する中学1年生と2年生の男女
- 日時 8月4日(日) 17:00～19:00
- 会場 たつのごスタジアム ※雨天決行
- 持ち物 運動ができる服装、スパイクグローブ、タオル、飲み物
- その他 保護者の参観が可能です。事前のお問い合わせは、以下の専用フォームよりお願いいたします。
- 事前相談用フォーム 

教室詳細

- 日時 毎週 土曜日または日曜日(注に日曜日) 17:00～19:00
- 会場 たつのごスタジアム スタジアムが使用できない際は、その他施設や学校施設の利用を予定
- その他 野球の専門指導者が指導します。トレーニング等の専門的指導あり。兼部活、兼クラブが可能です。

龍ヶ崎市が行う令和6年度活動地域移行に向けた実証事業の一環です

費用 0円 | スポーツ保険 加入あり

運営：NPO法人 クラブ・ドラゴンズ 

下記のQRコードより体験会申し込みができます 

SASAERU 090-4002-2327 [受付時間] AM 9:00 - PM 17:00

【体験会への参加啓発チラシ】

出典：NPO法人 クラブ・ドラゴンズ



FC RYUGASAKI WEST/EAST

新入部員大募集!!

抜群の環境で成長できる!

龍ヶ崎市が行う令和6年度活動地域移行に向けた実証事業の一環です

費用 0円 | スポーツ保険 加入あり

無料体験会 案内

- 対象者 城ノ内中学校、龍ヶ崎中学校、長山中学校、中根台中学校、城西中学校に在籍する中学1年生と2年生の男女
- 日時 8月4日(日) 17:00～19:00
- 会場 たつのごフィールド ※雨天決行
- 持ち物 運動ができる服装、スパイク、タオル、飲み物
- その他 保護者の参観が可能です

教室詳細

- 日時 毎週 土曜日または日曜日(注に土曜日) 17:00～19:00
- 会場 たつのごフィールド フィールドが使用できない際は、その他施設や学校施設の利用を予定
- その他 サッカーの専門指導者が指導します。トレーニング等の専門的指導あり。兼部活、兼クラブが可能です

運営：NPO法人 クラブ・ドラゴンズ 

事前のお問い合わせはこちら 

体験会申し込みはこちら 

090-4002-2327 [受付時間] AM 9:00 - PM 17:00

SASAERU 



野球・水泳・サッカー
2025年START!

野球

対象：小学4～6年男女
日時：日曜9:00～10:00
場所：龍ヶ崎中学校校庭 or TOKIWAスタジアム
持ち物：野球グローブ、水筒、運動着、運動靴等

水泳

対象：年長～小学6年男女
日時：月曜・金曜
初級17:30～18:20
中上級18:30～19:20
場所：流通経済大学プール
持ち物：水着、タオル等

男子サッカー

対象：小学生男子
日時：土曜17:00～18:00
場所：流通経済大学龍ヶ崎フィールド(たつのごF)
持ち物：タオル、運動着/靴、(スパイク自由)等

女子サッカー

対象：年長～小学6年女子
日時：土曜or日曜午前(学年別に分かれて実施)
場所：流通経済大学構内
～4月開始予定で調整中～

1月より順次START!

体験・入会をご希望の方は、表面のQRコードよりお申込ください。みなさまのご参加を心よりお待ちしております！※電話申込は受付していません。

【来年度 会員募集チラシ】

出典：NPO法人 クラブ・ドラゴンズ

2.実証内容と成果④

参考資料（活動写真）



【野球体験会】



【サッカー体験会】



【学校部活動へ地域指導者派遣】



【顧問と地域指導者の連携強化】

地域スポーツクラブ活動の実施に至るまでの合意形成プロセス

令和6年

ガイドライン策定
協議会設置

受け皿団体や指
導者の選定、拠
点校の選定

学校現場との
調整

生徒、保護者へ
の説明

令和7年

地域クラブ活動
の開始
(10月から)

令和8年

地域クラブ活動
の拡大

●ステークホルダー

龍ヶ崎市地域クラブ活動移行推進協議会

●経過

関係機関へ協議会委員を委嘱し、その都度開催文書を配布し、出欠を確認した。

●実施にあたって生じた課題

1回目の協議会では、議案に対し様々な意見が出て話が集約しなかったため、2回目からは検討が必要な部分にポイントを当て、検討した。

●実施内容、工夫した点等

協議会委員へ事前に議題を伝えておき、意見をもった上で協議会へ参加してもらうようにした。

●ステークホルダー

学校（校長・顧問）

●経過

校長会や教頭会へ参加して説明をしたり、顧問ヒアリングをしたり、市内全教職員に向けて全体研修の場で説明をしたりした。

●実施にあたって生じた課題

繰り返し説明をしても合意形成を図ることが難しく、度々学校を訪問し、説明をすることがあった。

●実施内容、工夫した点等

各校の教頭先生と連絡を密にとり、日程調整を行った。校長先生方とは、教育委員会へ来訪時に個別に話す機会を設けた。

●ステークホルダー

地域クラブとなる移行先の団体

●経過

中学生を既に受け入れている団体からコンタクトをとり、休日の指導者として参加してもらえるよう説明をした。

●実施にあたって生じた課題

移行先の団体や指導者によっては、クラブの方針と部活動の方針に差があり、難色を示す団体も多くあった。

●実施内容、工夫した点等

各団体の代表者と定期的に連絡をとり、その種目に関する情報（部員数・顧問名・専門委員長など）を網羅した種目ごとの資料を作成し、繰り返し打ち合わせを重ねた。

地域連携・地域移行の推進に向けたロードマップ

龍ヶ崎市地域クラブ活動移行推進計画（ロードマップ）



R6

R7

R8

- ・部活動の活動状況把握（生徒・保護者アンケート）
- ・ガイドライン作成
- ・野球部、サッカー部の実証事業開始（8月～）
- ・休日受け入れることができる地域クラブへのヒアリング
- ・運営団体の設置準備
- ・受益者負担の検討
- ・顧問、保護者へ説明
- ・部活動指導員の活用検討
- ・龍ヶ崎市地域クラブ活動移行推進協議会発足

- ・地域クラブ中体連登録検討
- ・運営団体への参加募集
- ・地域クラブ活動状況の把握
- ・受け皿となる地域クラブとの連携
- ・地域クラブ指導者の確保
- ・全部活動での休日の部活動地域移行実証事業開始
（10月～休日15回）
- ・多様なスポーツ・文化芸術活動の環境整備

- ・平日の部活動地域移行について検討
- ・財源確保の手法検討
- ・中体連の大会に地域クラブで参加
- ・平日まで移行できる地域クラブを視野に入れ、学校の部活動数の適正化
- ・学校施設の有効活用
- ・部費と地域クラブ運営費の比較